

- 1 開会のことば ＜司会：教頭＞

- 2 会長挨拶

- 3 校長挨拶

- 4 議長の確認

- 5 前回会議録の確認 … 別紙①

- 6 報告（13:05～13:20） ＜進行：議長＞
 - ・学校支援コーディネーターの活動経過報告と振り返り … 別紙②③
 - ・夢育やらまいかCS加算分の報告 … 別紙④

- 7 熟議（13:20～14:25）
 - ・学校関係者評価について（いじめ防止基本方針について含む） … 別紙⑤
 - ・令和6年度の経営方針について … 別紙⑥
 - ・学校運営協議会の自己評価について … 別紙⑦

令和5年度学校運営協議会自己評価（評価用紙）を会議終了後御提出
願います。

- 8 連絡事項（14:25～14:30）
 - ・令和6年度学校運営協議会委員について

- 9 閉会のことば

参加者名簿

1	会 長	みやざき のぶたか 宮崎 順孝
2	副会長	たちから ゆうじ 田力 祐二
3		いしかわ たかひさ 石川 隆久
4		はせがわ まなみ 長谷川 真奈美
5		やまだ みよこ 山田 真代子
6		いしだ じゅんじ 石田 潤司
7		いせ さとし 伊勢 聖
8	学校支援 コーディネーター	きまた けいいち 木俣 契一
9	学校支援 コーディネーター	おだぎ まさこ 小田木 真砂子
10	学校支援 コーディネーター	ふじた かよ 藤田 嘉代
11	校長	さいとう まさなが 齊藤 昌長
12	教頭	うちやま ただひさ 内山 忠久
13	主幹	ふるはし たかふみ 古橋 孝文
14	CS担当	あさひな あいこ 朝比奈 愛子
15	CS ディレクター	うちやま なおこ 内山 尚子

令和5年度 第3回 気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月26日（木）午後2時25分から午後4時15分まで
- 2 開催場所 気賀小学校 第1会議室
- 3 出席委員 宮崎順孝、石川隆久、長谷川真奈美、田力祐二、山田真代子、石田潤司、小田木真砂子、藤田嘉代
- 4 欠席委員 伊勢聖、木俣契一
- 5 学 校 齊藤昌長（校長）、内山忠久（教頭）、古橋孝文（主幹教諭）、朝比奈愛子（CS担当職員）、水津健太郎（1学年主任）、小川怜志（2学年主任）、岩崎美日（3学年主任）、竹田達明（4学年主任）、森山美和子（5学年主任）、佐久間莉紗（6学年教諭）、内山尚子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野知子（教育総務課）
- 7 傍聴人 1人
- 8 会議録作成者 内山尚子（CSディレクター）
- 9 議長の選出

前回運営協議会後に議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告と振り返り
- (2) 本校の課題について
- (3) 学校支援活動（気賀っ子応援団）の活動について
- (4) 次年度の教育課程編制へ向けて
- (5) 学校職員とのグループ協議

11 会議記録

司会の内山教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告と振り返り

議長の指示により、小田木委員、藤田委員から、別紙資料に基づき以下の報告があった。

- ・ ボランティアの方が何度も来てくださるうちに、活動内容を理解し積極的に動いていただけなので実習がスムーズに進むようになった。また、ボランティアの方々和孩子たちの距離が近づき、困っているときに自分から助けを求められるようになった。一方、ボランティアの方に甘えすぎたり、接し方や言葉遣いが馴れ馴れしくなったりして礼儀に欠ける子供がいる。（小田木委員）
- ・ 担任からボランティアの方に対する礼儀や接し方を指導し、声を掛けていくようにしたいと思っている。（齊藤校長）

(2) 本校の課題について

議長の指示により、古橋主幹から、別紙資料に基づき本校の課題について以下の説明があった。

- ・ 令和5年度全国学力調査の結果は、気賀小は全国や静岡県 averages を上回っている。しかし、選択式よりも記述式の回答ができていないことがわかり、今後、子供たちに自分の考えを伝える力、表現力を身につけてもらいたい。
- ・ 児童質問紙に関して、課題となっているところも多いが、気賀小の子供たちの頑張っているところ、いいところを伸ばしていけるようにしていきたい。

(3) 学校支援活動（気賀っ子応援団）の活動について

議長の指示により、学校支援コーディネーターの小田木委員より、園芸部（園芸グループ）立ち上げについての説明があり、委員からは以下の意見があった。

- ・ 園芸部（園芸グループ）に学校の花壇を自由に管理していただきたい。最初は近所の方でスタートしたいと思っている。（小田木委員）
- ・ CSボランティアは学校の要望に沿ってやってもらうものだと思うので、園芸部（園芸グループ）に全部お任せではなく、学校が計画（プラン）を出した上で依頼するやり方が良いのでは。子供を巻き込んで一緒に経験していくことで、ボランティアの方に対する感謝の気持ちももてると思う。（山田委員）
- ・ 日中、教室に入れないうちの子供たちが一緒に活動できると良いのでは。（小田木委員）
- ・ ボランティアの方の中からリーダーを決めるのは難しいと思う。（宮崎会長）
- ・ ボランティアの中からリーダー（代表）を決めて、学校とは定期的に打ち合わせをして進めていけたら良い。リーダーを決めておくと地域の集まりの時などに連絡を取り合ってもらえる。（小田木委員）
- ・ ボランティアの方がやり過ぎてしまうことが心配。（長谷川委員）
- ・ 子供の行き届いていないところに声を掛けてもらえるとありがたい。（小田木委員）

(4) 次年度の教育課程編制へ向けて

議長の指示により、齊藤校長より、別紙資料「2024 Kiga Plan」に基づき説明があった。

- ・ 150周年をきっかけに、「自分たちの学校をつくる」ということを意識して、職員・児童・保護者・地域と共有し、新しい気賀小をつくっていききたい。
- ・ CSの活動が充実してきている中で、人間関係を学校の外でも築けたら良いと思う。

(5) 学校職員とのグループ協議

低学年グループ

〔水津（1学年主任）、小川（2学年主任）、田力委員、石川委員、藤田委員〕

- ・ 言われれば素直に動くが、もっと自主性を育みたい。
- ・ 縦割り活動をもっと多く取り入れて、異学年で共働する学びがあると良い。

中学年グループ

〔岩崎（3学年主任）、竹田（4学年主任）、石田委員、長谷川委員、小田木委員〕

- ・ 知っている人への挨拶はできるが地域ではできていないので指導していききたい。
- ・ 自転車の乗り方、横断歩道の渡り方が悪いため、マナーや安全への意識を徹底したい。

高学年グループ

〔森山（5学年主任）、佐久間（6学年教諭）、宮崎会長、山田委員〕

- ・ 新しく作ること、考えを伝えることが苦手な子が多いと思うが、低学年の頃から工夫を積み重ねていくと良い。
- ・ 縦割り活動で、集団での学びやみんなでやることのよさを大切にしていきたい。

その他連絡事項等

- ・ 学校運営協議会の自己評価を御記入の上、第4回学校運営協議会時に持参していただくよう依頼した。
- ・ 次回議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があった。
- ・ 次回会議は、令和6年2月2日（金）午後1時00分から第1会議室で開催する旨の連絡があった。

学校支援コーディネーター活動報告

令和6年2月2日

1. 主な活動

- ・家庭科、生活について授業補助のボランティアを募り、支援をお願いした。
- ・体育、図工、英語について、講師の依頼・実施。
- ・学校支援コーディネーター研修会への参加。
- ・「気賀っ子応援団」(CS だより) の作成。

2. 活動報告

●11月

- ・5.6年 ミシン
- ・5年：調理実習
- ・2.3.4年 発達：マット・跳び箱講座
- ・1.5.6年：走り方講座
- ・発達：釘打ち
- ・1年：どんぐりのおもちや作り

●12月

- ・3年：まちたんけん
- ・5年：しめ縄体験
- ・発達：講座「身近な素材で遊ぼう」
- ・学校支援コーディネーター研修会への参加

●1月

- ・クラブ活動
- ・4年：釘打ち、のこぎり
- ・発達：英語に触れて遊ぼう
- ・ありがとう集会

3. その他

●今後の予定

- ・4年：釘打ち、のこぎり
- ・1,2年：パンジーの植え替え
- ・6年：調理実習（炊飯）
- ・発達：「うなぎパイ工場の講座」

●1年を通しての反省

活動の充実、コーディネーターの後任探し等

気賀っ子応援団

～気賀小コミュニティ・スクールだより～

第11号 令和6年2月

気賀っ子応援団への御協力ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、今まで以上に充実した活動を行うことができた一年でした。

昨年までと同様、ボランティアさんに入っただけ活動に加え、講師の先生による講座を開いていただく機会も増えました。気賀、細江の人材の層の厚さをあらためて実感しました。

来年度もより一層、地域と学校が連携した活動ができるよう、皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

新規のボランティア募集も行っていますので、皆様で声を掛け合っ、気賀っ子を応援する一員になってみませんか？



1月29日 150周年ありがとう集会

2. 3. 4年. 発達：マット運動・跳び箱



1. 5. 6年：走り方講座



1年：どんぐりのおもち作り

3年：まちたんけん



5年：しめ縄講座



発達：講座「身近な素材で遊ぼう」「英語で遊ぼう」



新しい時代へ

校長 齊藤昌長

5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、学校の教育活動の制限がなくなりました。しかし、この3年間に失ったもの、変化を余儀なくされたものがあります。社会情勢や人々の考え方が大きく変わり、全てをコロナ前に戻すことはできません。来年度の教育課程を編成していますが、気賀小が目指す子供の姿に向かって、教育活動の充実と精選をしていきます。

6月のCS便りで「『アフター・コロナ』のCSの在り方を模索しながら、活動の質を高め、持続可能なものにしていきたい」と書かせていただきました。学校運営協議会の委員の方々や学習支援コーディネーターの方々、学校のCS担当のおかげで、地域の方々に授業に入っていただくことができました。お陰様で学びが充実し、**見える学力**が確実に身に付いてきていると感じています。さらに、定期的に学校に足を運んでくださるボランティアの方々との関わりを通して、安心して学習に臨むことができます。また、多くの人たちと関わることで人間関係力を高めることができます。これによって、子供たちは学習に集中して取り組む姿勢、**見えない学力**を高めることができます。本年度はこの2つの学力が高まったと実感することができました。CSを支えるのは人です。人から学ぶ機会をこれからも充実させたいと思います。

地域の方々と保護者、教職員、子供たちが気賀小という場所で、10、20年後の社会を支える人材を自らの手で育てていかなければなりません。そのために、これまでの教育活動を変えていくことも必要になります。どのように変えていくのかを共に考え、地域と学校をつなげるのがCSです。前述の4者が思いを一つにして、創立150周年を超えて、次の時代の気賀小を創っていきたく思います。

夢をはぐくむ学校づくり 中間報告（CS加算分含む）

	予 算	決 算	用 途
報償費	173,700	64,500	ボランティア謝礼（気賀っ子応援団）、観劇代等
需用費	173,300	197,905	一人一鉢栽培（春・秋種 培養土等）、ボランティア飲料等
役務費	0	30,880	百葉箱修理、振込手数料
使用料	140,000	129,800	夢の丘コンサート（市音研）バス代
負担金	10,000	10,000	防犯教室負担金

校訓（みんなの合言葉）



はままつの人づくり
○未来創造への人づくり
○市民協働による人づくり

細江中学校区の目指す子供像
○夢と希望を持ち、
力強く歩み続ける子



気賀小教育の理念

学校教育目標
研修主題

生きる力を育てる気賀小教育の実現

かかわる力

生きる力

つなげる力

みつめる力

のりこえる力

目指す子供像



思いやる子

○「ひと・もの・こと」とよりよく関わる子

学び合う子

○思いや考えを聴き、伝える子

たくましい子

○いのちを大切にし、自分で決めためあてに向かって生活する子

令和5年度の重点

学校経営研修

全面教育

学び合う子

㊦ 思いや考えを聴き、伝える授業

たくましい子

- ㊦ 問題解決活動の充実
- ㊦ 健康的な生活の習慣化

思いやる子

思いやりとがまんの花を咲かせよう

- ㊦ 気賀っ子パスポートの習慣化
- ㊦ 温かく学び合う集団の形成

教師像

チームの一員として、持ち味を生かし、子供とともに成長する教師

チーム気賀小に必要な力 素朴な発想を大切にし、原点を求め原点から出発する教育を進める力 基本を大切に育てることを通し、人間教育を進める力 (気賀小教育理念より)



学校像

学校

学校経営目標 **地域に信頼される学校づくり**

子供と教師が目指す学校像

日本一の挨拶がこだまする学校 厳しいけれど楽しい学校 理想を高く掲げる学校

市民協働による人づくり

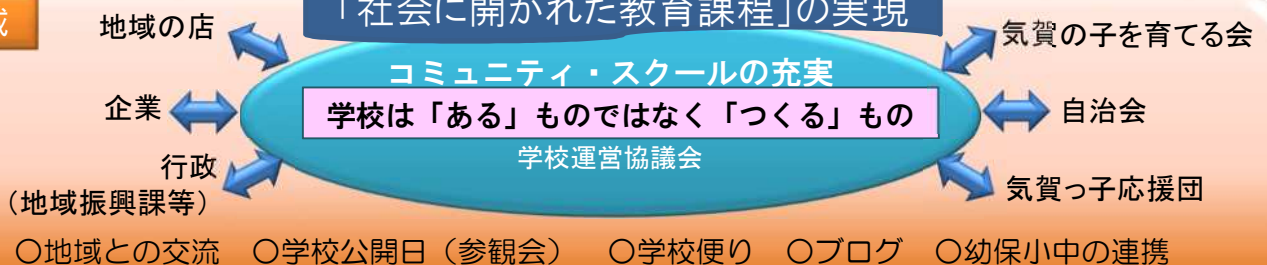
地域

「社会に開かれた教育課程」の実現

コミュニティ・スクールの充実

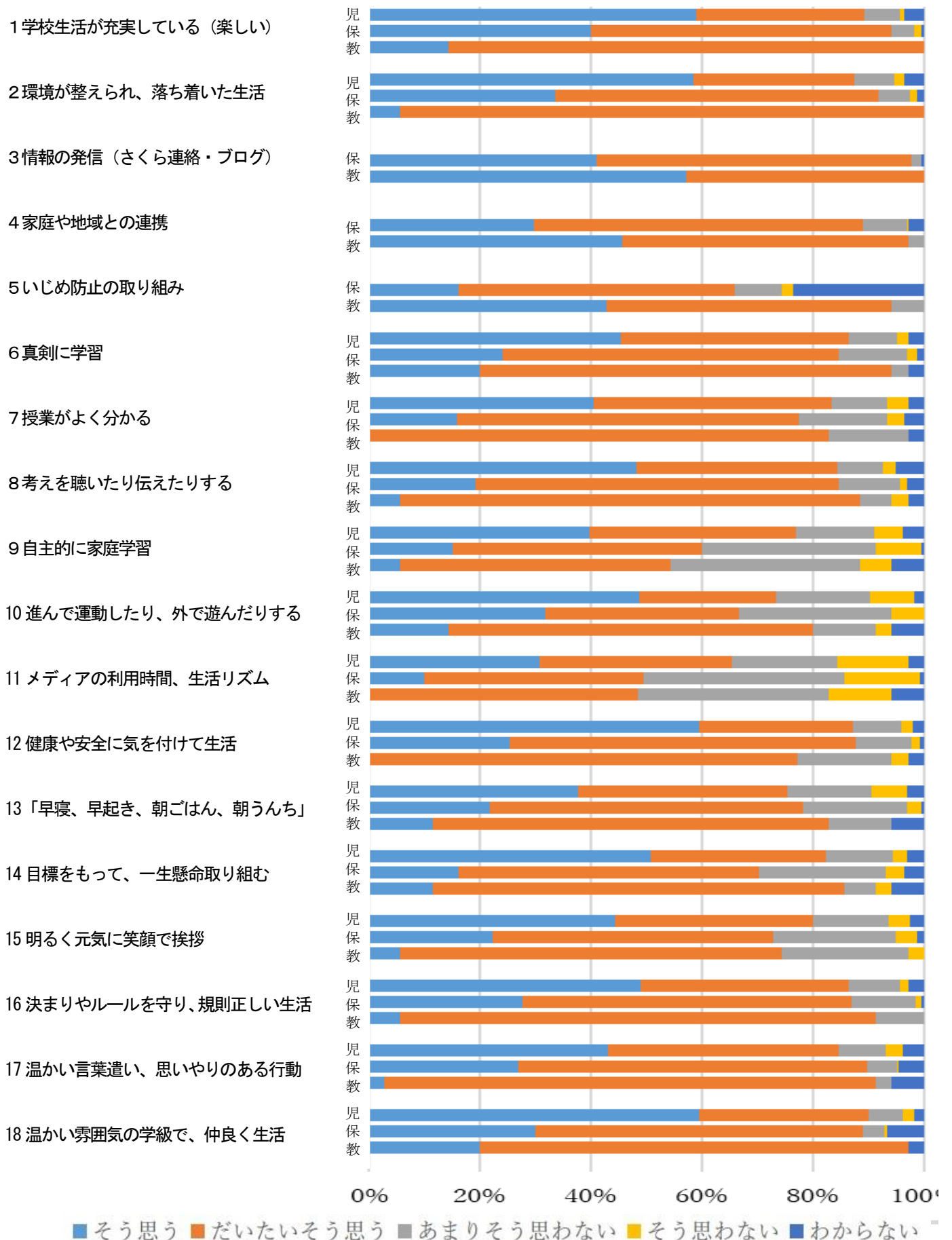
学校は「ある」ものではなく「つくる」もの

学校運営協議会



令和5年度 浜松市立気賀小学校 学校評価

令和5年 11月実施



令和5年度気賀小「学校評価」報告

240202 学校運営協議会

1 はじめに

(1) 令和5年度「気賀小教育の理念（学校教育目標・研修主題）」「目指す学校像」「目指す子供像」の確認

※グランドデザイン「2023 Kiga Plan」参照

【気賀小教育の理念（学校教育目標・研修主題）】

「生きる力を育てる気賀小教育の実現」

→「かかわる力」「みつめる力」「のりこえる力」「つなげる力」

【目指す子供像】

「思いやる子」

→「ひと・もの・こと」とよりよく関わる子

「学び合う子」

→思いや考えを聴き、伝える子

「たくましい子」

→いのちを大切にし、自分で決めためあてに向かって生活する子

【目指す学校像】

「日本一の挨拶がこだまする学校」

→いつでも、どこでも、だれにでも、明るい表情、爽やかな声で挨拶

「厳しいけれど楽しい学校」

→充実感（真の楽しさ）、ルールやマナーを守る

「理想を高く掲げる学校」

→目標を高く掲げる、自分たちの力で引き出す

(2) 令和5年度学校評価アンケートについて

①実施時期

11月に全児童（タブレット）・全保護者（さくらアンケート）・全教職員対象アンケート実施

②アンケート項目

全18項目（児童は15項目）今年度、アンケート項目を見直し

※「気賀小教育の理念」「学校像」「目指す子供像」に関わる内容を設定

2 アンケート結果の考察

①「学校生活が充実している（楽しい）」

○児童・保護者・教職員共に約90%が達成

●保護者、職員が約95%以上を示している一方、児童の約10%は「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」と回答している。全校児童の約10%と考えると、約50人（各学級2～3人）である。学級経営の充実、個に寄り添う姿勢、心のアンケート、個別面談の充実を図る。

②「環境が整えられ、落ち着いた生活」

○三者共に約 90%の達成である。教育環境、学校環境が整えられ、全体的に非常に落ち着いた学校生活を過ごすことができている。今後も、家庭、地域、学校が一体となって気賀小教育の推進をしていく。

③「情報の発信（さくら連絡・ブログ）」※保護者・教職員のみ回答

○保護者結果が約 95%達成。昨年度は、職員約 95%達成に対して、保護者は約 85%と差があったことを考えると、今年度は情報発信が充実しているのとらえることができる。令和 4 年度後半に HP が市内小中統一されたこと、また、学校長が中心となり授業の様子や学校行事等について、こまめにブログ更新をしていることが結果に表れていると考えられる。

④「家庭や地域との連携」※保護者・教職員のみ回答

●CS については市内他校に比べて充実していると感じるが、保護者に伝わっていないところがあるのではないか。CS の取り組みについて、より効果的に情報公開する取り組みをすすめていく。

⑤「いじめ防止の取り組み」※保護者・教職員のみ回答

●令和 5 年度から新規項目設定。職員約 90%達成に対して、保護者は約 65%の達成評価である。保護者の約 10%は「あまりそう思わない」「思わない」、約 20%強の保護者は「わからない」と回答している。

「気賀小いじめ防止基本方針」を基本に、学校は子供の困り感に丁寧に寄り添い、保護者に対してしっかりと説明をして、学校が楽しく、安全な場所であると実感できるように、適切に対応を進めていく。

⑥「真剣に学習」

○三者共に約 80%以上達成している。校訓「真剣」にある通り、学習面に限らず生活面、児童会活動や縦割活動等、何事に対しても真剣に取り組むことができる児童が多い。

⑦「授業がよく分かる」

●児童、教職員の 80%以上達成に対して、保護者の評価は 80%を下回る結果となった。令和 5 年度全国学力・学習状況調査（6 年生対象）の教科に関する調査では、気賀小の平均正答率は国語、算数科ともに全国平均及び、静岡県平均を上回る結果であった。一定の学力を達成していると考えが、教育相談等を通して、保護者に対して学習定着状況を丁寧に伝えていく等の対応をしていく。

⑧「考えを聴いたり伝えたりする」

○本校の目指す子供像の一つに「学び合う子」（思いや考えを聴き、伝える子）の育成を目指して授業改善に取り組んできた。三者の結果がいずれも 80%以上を達成しており、これまでの研修成果が表れていると考える。

⑨「自主的に家庭学習」

- 児童の約 75%達成に対して、保護者は約 60%、職員は約 55%であり、保護者、教職員が求めるものと児童の意識に差がある。家庭学習の在り方について検討を重ね、三者が共有していくことが必要であると考えます。

⑩「進んで運動したり、外で遊んだりする」

- 教職員の約 80%達成に対して、児童、保護者のとらえに開きがある。本校独自のチャレンジカルテを積極的に活用したり、昼休みの外遊びを励行したりしていく。

⑪「メディアの利用時間、生活リズム」

- タブレット端末 1 人 1 台導入に伴い、授業での ICT 利用が積極的に行われるようになった。また、日常生活においても機器利用があたりまえのものとなっている。情報化社会を生きる児童にとってメディアの利用時間と生活リズムについては、今後ますます意識していかなければならない。学校だけでなく、家庭との連携を図りメディア利用や生活リズムの安定に関する取り組みが一層必要である。

⑫「健康や安全に気を付けて生活」

- 児童、保護者共に約 90%が達成している。一方、教職員は 80%を下回る結果である。校内の廊下歩行や教室内での安全を意識した行動に関して、十分ではないと感じている。

⑬「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」

- 教職員 80%以上達成に対し、児童、保護者は 80%を下回る結果である。上記⑪「メディアの利用時間、生活リズム」と同様に家庭と連携した取り組みが必要である。

⑭「目標をもって、一生懸命取り組む」

- 保護者は約 70%と下回る結果であったが、児童、教職員は 80%を上回る結果である。目指す子供像の一つに「自分で決めためあてに向かって生活する子」を掲げ、日々の授業や行事・活動等に取り組んできた。今後も目標（めあて）をもって一生懸命取り組むことができるように指導・支援していく。

⑮「明るく元気に笑顔で挨拶」

- 児童の 80%は「明るく元気に笑顔で挨拶ができています」と回答しているが、保護者、職員は 70%と低い状況である。挨拶に関しては、学校、家庭、地域が一体となって取り組みを進めていくことが必要である。

⑯「決まりやルールを守り、規則正しい生活」

⑰「温かい言葉遣い、思いやりのある行動」

⑱「温かい雰囲気のある学級で仲良く生活」

- 上記 3 項目については、三者共に約 90%の達成である。「気賀っ子パスポート」の定着と温かい学校・学年・学級づくりができているからと考える。

- 約 10%の児童に寄り添った対応と温かい学級雰囲気づくりについては、十分に配慮・対応をしていかなければならない。



令和6年度 浜松市立気賀小学校 学校経営構想



基本方針

- 「生きる力を育てる気賀小教育の実現」を掲げて44年目にあたる。この生きる力の押さえを全職員で共通理解し、「目指す子供の姿」とこれを実現するための手立て（ロードマップ）を明確にして実践を重ねる。 ☆学校経営研修
- 新学習指導要領に則った新しい学力観に基づいた教育活動を行う。 ☆10年後の子供の姿
- 長年にわたり積み上げられてきた良き伝統によって培われた学校風土（見えないカリキュラム）を大切にしながら、現在の課題に対応する持続可能な教育活動に再編（スクラップ&ビルド）し、地域から信頼される学校づくりを進める。 ☆「気賀っ子、新時代の幕開け」

校訓と合言葉

○校訓

「真 剣」:真剣になると力がはいる 力がはいると何でもできるんだ

☆「真剣」に込めたい思い：言われたことを真面目に一生懸命やるだけでは不十分

○児童の合言葉：子供たちの中に生きている

思いやりの花とがまんの花を心の中に咲かせよう

- ・思いやりの花：人へ（挨拶もその一つ）花へ（一人一鉢栽培等）物へ
- ・がまんの花：気賀っ子パスポート(10の約束)、規律と活力のある学校生活

学校教育目標・研修主題 「生きる力を育てる 気賀小教育の実現」

かかわる力	みつめる力	のりこえる力	つなげる力
友達・教師・地域の方々とかかわる	自分の良さを知り、自分を磨く	目標に向かって、工夫して取り組む	未来・社会とつなげる

- 気賀小学校のキャリア教育の4つの力の押さえ
- 気賀小学校の生きる力とキャリア教育の視点

「自他のよさを認め、自分を律し、何事にも主体的に関わり、たくましく 生き抜く力」

みつめる力

かかわる力

のりこえる力

つなげる力

学校教育目標を実現することでキャリア教育の4つの力を付けることが可能になる。今やっていることで大丈夫。来年度は4つの力の中で何を重点にするかを考えたい。

目指す子供像



かかわる力

みつめる力

のりこえる力

生きる力

つなげる力

R6

思いやる子

学び合う子

たくましい子

○「ひと・もの・こと」とよりよく関わる子

○思いや考えを聴き、伝える子

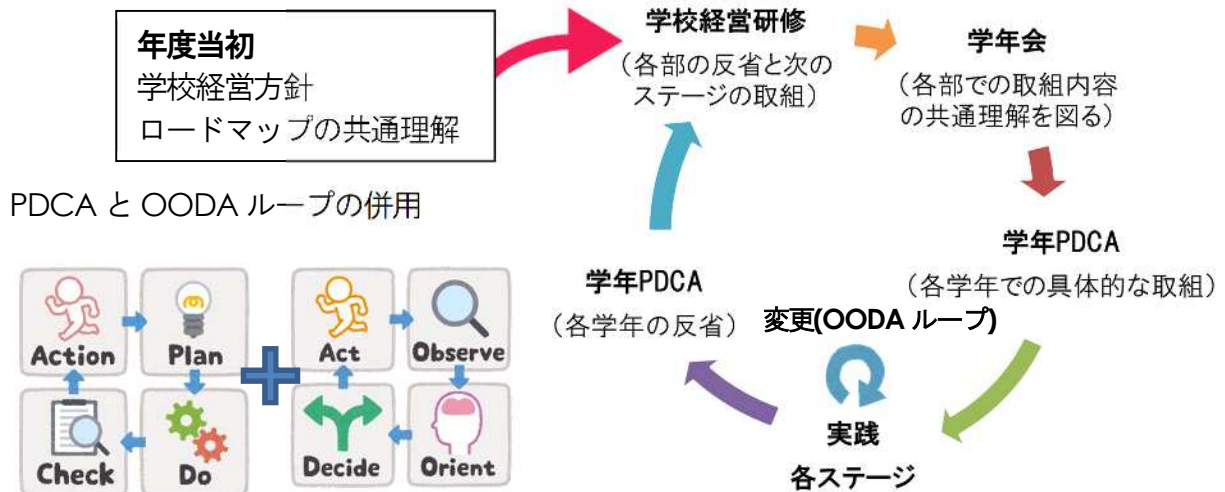
○最後までやり抜く子

全面教育の推進

～全教育活動を通して子供を育てる＜学校経営研修＞～

- 見えるカリキュラム（教育課程）と見えないカリキュラム（気賀っ子らしさ）の関連を図り、気賀っらしい「生きる力」を育てる。 ☆不易と流行のバランス
- 知・徳・体のバランスが取れた3つの子供像を設定し、「思いやる子」を基盤に「たくましい子」を育て、「学び合う子」を実現する「全面教育」を推進する。

☆目指す子供像と学校経営研修の関連を図る



※ 大きな流れはPDCA。中途の変更はOODA ループで。

- 学校経営研修で各ステージの取組を検討し、学年会では学年で取り組む具体的な方策を共通理解し、実践していく。 ☆「2024 ロードマップ」と学年PDCA とのリンク

R6	思いやる子部	学び合う子部	たくましい子部
	○気賀っ子パスポートの習慣化 ○温かく関わり合う集団の形成	○自らの思いをもつ授業 ○聴きたい、伝えたいという意欲が高まる対話	○問題解決的活動の充実 ○健康的な生活の習慣化

- 教師が同一歩調で指導していく、学級担任は自分の学級だけでなく、学校全体をみるという学校経営の視点をもつ。 ☆学級経営力の育成+教科担任制への対応
- 「気賀っ子パスポート」(10の約束)を意識する。 ☆「気賀っ子らしさ」

【気賀っ子パスポート】<朝も見事、起きたじえ(ぜ)！>			
あ 明るく元気に 笑顔であいさつ	と どんどんさっさ 黙って集合	お 大きな声 気力あられる よい授業	
さ 「さん」をつけて みんな仲よし	お 大きな声 気力あられる よい授業	き きちんとそろえる くつ・サンダル	
も 黙働流汗 ピカピカ清掃	た 正しい姿勢で まじめに学習	じえ 時刻を守って きびきび行動	
み 右側を静かに通る ろう下歩行			
こ ごみ拾い しっかり整頓 きれいな教室			

※ そうすることがかっこいい「気賀っ子らしい」という意識

- 気賀っ子パスポートを実現できることは、基本的な生活習慣、社会におけるルールやマナーを身に付けることであり、相手に対する「思いやりの心」、自分を律する「がまんの心」を育むことである。 ☆「見えない学力」の育成

目指す教師像

チームの一員として、持ち味を生かし、子供とともに成長する教師 ～ベクトルを一にして 和を以て成す～

- ・ 気賀小を愛する教師 → 自分がこの学校で何ができるか
- ・ 教育活動の充実を目指し、研鑽に励む教師
- ・ 愛情と情熱をもって子供とともに歩む教師
- ・ 持ち味を生かし、協働態勢がとれる教師
- ・ 多面的な観察力と専門的な知識・技能を備えた協働学習者



☆子供たちにとって最大の教育環境は教職員自身（率先垂範・師弟同行の姿勢で）

学校経営目標

地域に信頼される学校づくり

日本一の挨拶がこだまする学校

- いつでも、どこでも、だれにでも、明るく元気に笑顔で挨拶

厳しいけれど楽しい学校

- 充実感（真の楽しさ）
- ルールやマナーを守る

理想を高く掲げる学校

- 目標を高く掲げる
- 自分たちの力で引き出す

- ・ 気賀小の学校文化として大切にしてきたことを象徴的に表したもの（規律・徹底）
- ・ 子供たちが目指す子供像に近づくことで、その先に見えてくる学校（集団）の姿

○「確かな学力」の定着

授業研究会（自主研究発表）の継続 → 目指す子供像を具現化する場として
WT 研修を中心とした教科研修 → 教師の授業力のアップ → 主体的な研修へ

○一人一人が居場所とやりがいのある集団づくり

学校経営研修の取組を学年・学級経営に生かす 縦割り班活動の充実

○気持ちの良い環境づくり

教室環境の整備 言語環境の整備 持続可能な栽培活動

○気賀小いじめ防止基本方針にそった対応

いじめの未然防止と早期発見

いじめが発生した際には迅速かつ適切な情報共有や組織的な対応

○子供の命を守る危機管理

危機管理マニュアル アレルギー対応

○職員の使命感と倫理意識の高揚

「気賀小らしさ」を大切に チーム型の組織（明確なビジョン×心理的安全性）

働き方改革に対する意識（誰のため、何をを目指すのかを明確に）

信用失墜行為の根絶



家庭・地域との連携・協働

学校・家庭・地域でつくる「チーム気賀」 ～コミュニティ・スクールの推進～

- コミュニティ・スクール：持続可能なCSをつくる
- ・ 「気賀っ子応援団」の充実と人材リストの活用
- ・ 保護者のボランティア活動への参加

☆できる人が、できる時に、無理なく、楽しく



- ブログの活用：頑張る子供の生の表情や姿を発信
- 各種便りの充実：学校便り、コミスク便り等で教育活動のねらいや成果を発信
- 家庭の教育力：保護者面談、家庭学習の充実

☆「学校は『ある』ものではなく『つくる』もの」

校訓（みんなの合言葉）



はままつの人づくり
○未来創造への人づくり
○市民協働による人づくり

細江中学校区の目指す子供像
○夢と希望を持ち、
力強く歩み続ける子



気賀小教育の理念

学校教育目標
研修主題

生きる力を育てる気賀小教育の実現

かかわる力

生きる力

つなげる力

みつめる力

のりこえる力

目指す子供像



思いやる子

学び合う子

たくましい子

○「ひと・もの・こと」と
よりよく関わる子

○思いや考えを聴き、
伝える子

○最後までやり抜く子

令和6年度の重点
学校経営研修

全面教育

学び合う子

○自らの思いをもつ授業
○聴きたい、伝えたいという
意欲が高まる対話

たくましい子

○問題解決的活動の充実
○健康的な生活の習慣化

思いやる子

思いやりとがまんの花を心の中に咲かせよう

○気賀っ子パスポートの習慣化
○温かく関わり合う集団の形成

教師像

チームの一員として、持ち味を生かし、子供とともに成長する教師

チーム気賀小に必要な力 素朴な発想を大切にし、原点を求め原点から出発する教育を進める力
基本を大切に育てることを通し、人間教育を進める力 (気賀小教育理念より)



学校像

学校

学校経営目標 **地域に信頼される学校づくり**

子供と教師が目指す学校像

日本一の挨拶がこだまする学校

厳しいけれど楽しい学校

理想を高く掲げる学校

市民協働による人づくり

地域

「社会に開かれた教育課程」の実現

コミュニティ・スクールの充実

学校は「ある」ものではなく「つくる」もの

学校運営協議会

地域の店
企業
行政
(地域振興課等)

気賀の子を育てる会
自治会
気賀っ子応援団

○地域との交流 ○学校公開日(参観会) ○学校便り ○ブログ ○幼保小中の連携

2024 気賀小学校ロードマップ(案 240123 版)

け512 ステージ 目指す子供像	スタート 4月・5月	チャレンジ 6月～9月	チェンジ 10月～12月	ステップアップ 1月～3月
学校行事 学年行事	・運動会	・宿泊体験活動 ・新体力テスト	・修学旅行 ・持久走記録会	・学習発表会
学び合う子	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○あたたかな聴き方、優しい話し方を意識する。</div> <気賀小ベーシック> ・学年に合った聴き方・話し方を知り、意識して取り組もう。 ・全体に聞こえる声で、返事や発表をしよう。 ・友達の発言に反応しよう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○あたたかな聴き方、やさしい話し方を使って、思いや考えを表現する。</div> <研究授業①> ・ペアやグループでの話し合い活動で、自分の考えを伝えよう。 ・自分の考えや考え方を理由や自分の体験などを入れて伝えよう。 ・友達の発言に反応しよう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○思いや考えを聴き、伝えることを意識する。</div> <授業研究会> ・友達の考えを聴き、感じたことを理由や自分の体験などを入れて伝えよう意識しよう。 ・友達の考えを聴き、内容を理解しよう。 ・学習や体験したことを使って、振り返りをしよう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○思いや考えを聴き、伝えることができる。</div> ・友達の考えを聴き、感じたことを理由や自分の体験などを入れて伝えよう。 ・友達の考えを聴き、一番何を伝えたいのか理解しよう。
たくましい子	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○食べて動いてみんなと仲良くなる。</div> ・協力して活動に取り組もう。 ・みんなで動くこと・食べることを楽しもう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○みんなのことを知って、めあてを立てる。</div> ・自分にあった活動のめあてを立てよう。 ・気賀っ子のよさを知ろう。 ※なかよし遊び ※児童集会	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○みんなとめあてに向かって最後までやり抜く。</div> ・あきらめしないで活動に取り組もう。 ・自分の役割を果たそう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○みんなのできたことを認め合う。</div> ・できるようになったことを伝え合おう。 ・次の学年に向けて、めあてをもとう。
思いやる子	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○みんなで過ごしやすいクラスをつくる。</div> ・心を傾けて、友達の話を聴こう。 ・あいさつ、優しい言葉遣いをしよう。 ・気賀っ子パスポートを守ろう。 ・みんなが守る決まりやマナーを考えよう。 ※マナーの時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○自分のよさを知る。</div> ・友達と関わり、友達のよさに気付こう。 ・友達と、よさを伝え合い、自分のよさを知ろう。 ※かがやきカード ・相手の気持ちを考えて行動しよう	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○めあてに向かって取り組む。</div> ・なりたい自分をイメージしよう。 ・クラスの中で自分のよさを発揮しよう。 ※学級目標、個人目標 ※キャリアパスポート	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">○感謝の気持ちをもつ。</div> ・できるようになった自分を振り返ろう。 ・成長を支えてくれた人達に感謝をし、その気持ちを伝えよう。 ※かがやきカード ※ありがとう集会

・具体的な取組

※活用の機会(場)

御記入の上、第4回学校運営協議会（R6.2.2）にて提出

（様式2）

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名（ ）

<本年度の目標>

- 学校運営協議会の取組について、家庭や地域へ情報を発信し、活動内容や実際の様子の周知を図る。
- 学校運営協議会と教職員との連携を高め、学校支援活動のさらなる充実を図る。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

--

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

--

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

--